

ふくしま
林業

労働力確保支援 センターだより

第21号

発行:福島県林業協会
〒960-8043
福島市中町5番18号
(福島県林業会館内)
TEL 024-521-3270
FAX 024-521-3246
平成23年2月発行

本年度の基幹林業労働者研修が終わる

今年度の研修も、7月20日～12月3日までの40日間にわたり、19名の方が郡山市の福島県林業研究センター研修本館等を利用して実施しました。研修内容は、講師の皆さんや関係機関のご指導・ご協力をいただき、従来の現地視察や実習等を行いました。

研修には、意欲的に受講され、計画どおり全てのカリキュラムを修了しました。最終日の閉講式には、「福島県林業作業士」の認定証が各人に交付されました。

県内には、平成3年から平成21年度までに、すでに135の方が林業作業士に認定されており、各地域で活躍されております。

新たに認定された皆さんも、様々な機会に知識・技能を深めるためにより一層努力され、将来の地域の森林・林業の活性化のための中核的な担い手として、また、地域のリーダーとして大いに活動されますよう期待しております。



作業道の設計の研修



かかり木処理の研修



研修生一同

平成22年度 基幹林業労働者研修生（作文） 「研修を終えて」

(有)豊田林業

豊田和弘

今回、基幹林業労働者研修に参加させて頂き、無事40日間の研修を終えることができました。今回の研修で、今まで知らなかったことをたくさん勉強させて頂きました。現在の林業を取り巻く環境は、就労者の高齢化・素材価格の低迷・入札制度による労賃の下落など、林業労働者にとって大変厳しい状況となっています。このままの状態が続くと、林業から人がいなくなってしまうかもしれません。そうならないために、今回の研修で学んだ集約化施業や、高性能林業機械を取り入れて、素材生産性を上げ、林業労働

者の安定収入を確保できればと思います。僕自身としても、これから現場での作業で少しでも無駄をなくしていき、安全第一、ゼロ災害を目標に頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、今回ご指導して頂きました林業協会を始め、関係機関の皆様、一緒に研修をした研修生の皆様には長い間大変お世話になりました。どうもありがとうございました。これからもいろいろとお世話になると思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

(有)本郷林業

本郷勇喜

私は、以前「緑の雇用」と「高度化」の研修を、それぞれ1年ずつ受講しました。そして今回、7月の開講から12月の閉講までの40日間「基幹林業労働者研修」を受講して林業の基礎を改めて一から学び、新たに多くの知識と技術を習得させて頂きました。また、福島県内各地から集まった研修生の方々との出会いも良い情報交換の場となり、私にとって貴重な経験となりました。

現在、地球温暖化対策による森林整備などで林業が見直されつつありますが、福島県内だけでなく日本国内では依然として、林業従事者の高齢化と減少、木材価格の低下が目立っているように感じます。その他には、林業の労働環境の改善も今後への課題なのではないかと思っています。

リーマンショック以降、アメリカだけでなく日本でも不況の状態が続いており、失業率も高い水準を保っています。そんな中、林業へ転職して来る方もいますが、林業の厳しい労働環境に馴染めず、すぐに辞めてしまうのが現状です。いかに林業を仕事として長く続けられるようにするのか、働きやすい労働環境作りや、サポート体制作りなどを考えるのも、林業就業率を上げる為に必要であり、林業再生への一つの足取りとなるのではないかと思います。そして最後に、この40日間の研修で勉強した事を十分に発揮し現場の作業員達に指導していきたいと思っています。

(有)陣野林業

陣野祥一

今回の基幹林業労働者研修を終えて、役に立ったことと言えば林業に対する知識も含め、考え方が一変しました。知識の点では再確認と言った感じで改めて技術の重要性やそれに基づいた基本や対応などしっかりと見直す機会になりました。林業という常に危険が伴う仕事の中で、いかに基本に忠実に、そしていかに効率の良いことを行っていく為にも今回学んだことは全て知識、技術として取り入れる事ができました。これらを今後活かしていきたいと思っています。ですから充実や改善といった事をそちらに求めることはありません。

現在の林業に関する思いとして、林業は大変だし危険な仕事と言われています。確かにそうですが、私は社会人になってから今まで、林業にしか携わっていないので、多少は大変だし危険な仕事だと感じた事はあっても、周りほど感じた事はありません。それに今回、学んだ事を活かせば危険性も大幅にダウンし大変さもダウンすると考えます。

他にも木材価格の下落などありますが、高性能林業機械の導入もあるので仕方ない事だと思います。いかにスムーズに、そして危険をなくし効率の良い作業を行うかで改善されると考えます。

林業という自然を相手に行う仕事なので無くなる事はないと信じています。常に誇りを持って仕事を行っていきたいと思います。

今後の林業に対しても不安は特にありません。ですから、自らの技術の向上を踏まえ、自らの会社が発展していくことを願っています。

今回の研修を通して沢山の仲間に出会いました。そして理解し合える仲間に出会いました。講師の方や試験場の方への感謝の気持ちを忘れずにいたいと思います。いつか耳にする活躍した林業労働者が、今回研修を共にした仲間であることを夢に、私も負けずにこれからも林業に取り組みしていきたいと思う。

(有)中崎林業

加藤崇幸

7月から40日間の基幹林業労働者研修を受講してとても貴重な経験をさせて頂きました。

測量や高性能林業機械の実習、林分調査などの学科に関

しては、少しは知っていましたが、実際に受講してみるととても勉強になりました。

その中でも、作業道に関する講習は個人的に興味があり

測量機器を使い設計したり、安全な作業道の作り方を見学、実技をしたりとても参考になりました。それに、県内各事業体の受講生の方々との出会いも、いろいろな情報などが聞けて自分にとってプラスになりました。

現在の林業を取り巻く環境は厳しいものだと聞いていましたが「木材価格の停滞」、「森林所有者の施業意欲の低下」、「林業就業者の減少や高齢化」など話を聞いていると何か堂々巡りのようで答えが見つからないような印象を受けました。

しかし、高性能林業機械化や施業集約化などいろいろな

取り組みを実施し、また間伐材の利用方法が木材ペレットなどの燃料のほかに注目されつつあるとニュースを見ることがあり、林業にとっての転機が来ているのではないかと考えられます。

けれど、今すぐには結果が出ないと思います。

そこで、今私たちには研修のすべて内容を今すぐ実施するのは難しいと思いますが、この経験を活かし出来ることからコツコツとやるのが大切だと感じました。

最後になりましたが、今回の研修に関わった方々に感謝したいと思います。有り難うございました。

(有)齊藤林業

矢部文男

基幹林業労働者研修期間中は、林業協会、講師、関係者各位には大変お世話になり、ありがとうございました。

今回の研修で「提案型集約化施業」についての講習が一番印象に残りました。「提案型集約化施業」って何？初めて耳にする言葉でしたが、研修を終えて森林管理の重要性の意味を講師の説明と教材・配布資料・DVD等で理解出来ました。

山里に住む人々の著しい減少と高齢化により、林業は深刻な人手不足の状態に陥っています。そのため、下刈り、除伐、枝打ち、間伐など、林業経営に欠かすことのできない保育作業が十分に行えず、林地及び林木の質の低下が問題となっており、またせっかく育てた資源が十分に利用さ

れない状況となっている現在、団地化することで小規模に分散している森林を、個人所有者に代わって持続的な森林管理、経営をすることで、安定した木材供給と効率のよい作業が出来るため、外材価格に対するためのコストダウンにもつながることを学びました。また、作業路の開設と高性能林業機械の組み合わせによる、更なる効率のよい作業方法から、最終的には材の売り方デザインに至るまでの一連の工程が理解できました。

最後に、林業の担い手の育成と、新たに林業に参加しようとする方々にとって、実地での体験と共に、林木の育成管理技術を科学的に、しかもわかりやすい研修内容でした。

(有)佐藤林業

増子秋光

この度、基幹林業労働者研修を受講し、色々なことを学ばせて頂きました。

自分にとって役に立つことは、たくさんありました。作業道の測量設計はすぐに役立つと思います。

来年あたりから作業道づくりの仕事が増えるという事ですので、良い機会に勉強できたと思います。

しかし、この40日間ある講習で、高性能林業機械の研修が6日間ありましたが、もう少し少なくていいのではないかと思います。また、質問はありますか？と聞かれても、テキストどおりの講習なので質問できませんでした。

これからの参考にした方がよいと思います。

今の、林業を取り巻く環境においては、作業員の高齢化や素材価格の低迷など様々な問題があります。しかし、これからの問題も高性能林業機械化・施業集約化等を活用していけば、コストの削減・作業員の確保等が改善されるのではないかと思います。

最後に、今回の研修の講師の方々や林業協会の方々、その他研修に携わった方々のおかげで素晴らしい知識を学べたことに感謝しております。誠に有難うございました。

(有)いしぐろ

石黒悌二

今回基幹林業労働者研修の6ヶ月間の40日間の研修を受けさせて頂きました。

研修の中で各方部の森林組合、林業事業者の方々との知り合い、今現状の林業の実態などいろいろ話し合っ、とても勉強になり考えさせられました。

また、研修でもこれからの林業に関する基本的なことが学べて、とても良い経験になり、これから実際の現場などで活用していきたいと思います。

さて、今林業の実際の現状は作業員の高齢化、素材価格

の低下、原木も需要の低さなど、様々な問題があります。

これらには、素材生産性を上げ、経営や作業員の安定収入などが出来れば林業関係を取り巻く環境などが良くなっていくのではないかと思います。

最後に今回の研修で各方面の林業関係者と貴重な話が聞けてありがとうございました。

また、研修の講師の方々や、林業協会の方々40日間お世話になり有難うございました。

(有)鈴木林業

藤田 充

この度、基幹林業労働者研修に参加させて頂き、林業協会の担当者ならびに講師をして頂いた先生方には大変お世話になりました。

今回、研修を受講し色々なことを学ばせて頂きました。その中でも作業道測量設計は、今まで一度も作成したこと

がなかったので、この研修で学べたことはとても良い経験になりました。今後、この研修で得た知識を実際に現場で活かしていきたいと思っています。また、現場の林業に関してですが、林業を取り巻く環境は、木材価格の低迷や作業員の高齢化など非常に厳しい状況であります。これから

の林業は、プロセッサやハーベスタといった高性能林業機械を積極的に導入し、素材生産性の向上と機械化にする事により、若者の林業定着を目指していくのも良いのかと思います。また、国産材の利用価値も見直されれば、環境も

少し変わる事を期待しています。今回、研修で学んだ事を職場で活かして今後も頑張っていきたいと思います。

最後に、基幹林業労働者研修の関係者の方々には、大変お世話になり本当に有難うございました。

(有)諸橋林業

根本 陽太

40日間の研修に参加させて頂いて、大変貴重な経験をさせて頂いたと感じています。

自分は、林業の仕事について7年ぐらいになりますが、今回の研修で林業という仕事は、奥が深く知らないことがまだまだたくさんあることを痛感いたしました。

今回の研修では、作業道の測量、設計や高性能林業機械の実習、四万十式作業道の実習など、実際に機械を使った

実習をさせて頂きました。

そして、今回の研修に取り組み研修生の姿勢や、それぞれの事業体の仕事の状況や、仕事に取り組む姿勢、林業にかける熱い思いなどの話を聞き、自分も負けていけないと思いい刺激になりました。

今回の研修で学んだことを、無駄にはせず自分の職場でも活かして、これからも頑張っていきたいと思います。

千葉製材所

四 釜 誠

このたび、40日間の基幹林業労働者研修に参加させて頂いて、関係者ならび、講師の先生方にはお世話になり感謝しております。

今回の研修において、印象に残ったものが2つありました。一つは、作業道測量設計実習、もう一つは、高性能林業機械の体験実習でした。

どちらも多少の知識はありましたが、設計や実際の作業体験が出来てより興味がわいてきました。

今後は実際の現場での応用と採質性を考えた機械化への糧としていきます。

林業を取り巻く環境について、作業員の高齢化と素材価格の低迷が目立っていると思われま

す。それにはまず、素材生産性をあげて、経営収入の黒字化と市場動向にアンテナを張り、必要とされる素材生産を目指しそれに伴い、作業員の安定収入を確保出来れば、新規就労者の問題も解決される。

しかしながら、まずは実際の現場での無駄や安全面での改善など足元を見ながら着実に目標とする事業体にしていければと今は考えております。

松山林業(有)

高 野 春 義

これからの林業について、集約化施業の経営でやってゆくべきだと思う。まず、目標を決め、組織作り路網と作業システム作りコストをいかに抑える経営が必要だと思う。

それには、現地踏査を行い、図面におろし山全体を知ること、材価がない場所や道が作れない場所を把握し作業システムを作り施業工程表の作成が必要だと思う。

高性能林業機械については、ロングアームハーベスタはスライドするアームの届く範囲内であれば伐採集材枝払い

玉切り等の一連の作業が基本的にオペレーター1人で行える、路網密度200m程度の作業道を作れば高い収益が得られる。

また、作業員3、4人組で伐倒1人、オペレーター1人、フォワーダ1人、作業道造りが1人で行えば労働生産が高くなる。今までは8人組でやっていた作業だけれど、これからは高性能林業機械の時代になると思いました。

真名畑林業(有)

坂 上 弘 晃

今回の研修が7月から始まり、12月までの40日間の研修が終わろうとしています。林業協会関係者の方々には、親切なご指導をして頂き大変お世話になり、ありがとうございました。

一緒に受講した19人の方々、同じ林業関係ではありますが、それぞれ違った部門の人がほとんどで、研修の大半は教わる事が多い毎日でした。

最近林業業界は、色々な面で見直されて来ています。若い人が林業の仕事に就く事も多くなっていますが、退社するのも早いのが現状です。

これから林業に就く方に知って頂きたい一つは、高性能林業機械が使われる事が多くなって、体力的には依然よりは楽になりましたが、体力勝負が現状という事です。

これからの林業業界で生き残るため、今回研修で習った事をもっと勉強し、取り入れながら、会社に貢献していきたいです。

今の子供達に自信を持って林業の仕事を進められる自分、会社になろうと思います。

最後に、各社皆様の無災害と御繁栄を願います。

東白川郡森林組合

陣 野 忠 夫

平成22年度基幹林業労働者研修に参加させて頂き、林業協会、関係者の方々には大変感謝しています。

今回の研修を振り返ってみますと、林業の知識に始まり、高性能林業機械を活かした素材生産、提案型集約化施業、

林地の測量と作業道の設計路網整備等、たくさんの講義を受け大変勉強になりました。

研修に参加し林業だけでも、いくつもの仕事(分野)が有りその仕事の工夫、技術がある事を学び、知る事ができ

ました。今回の研修に於いて林業のノウハウを多少なりとも自分なりに感じとる事が出来たと思います。

ここ数年木材価格の低迷、後継者不足と言った問題が常に取上げられています。それを踏まえてこれからの林業をどの様に、活性化させ尚且つ豊かな森林造りをしていかなければいけないなどの問題は、どの地域に至っても同じだと思います。

現在の林業には、低コストによる作業路の道造りを始め、高性能林業機械化による素材生産が求められています。

今回の基幹労働者研修により習得した知識、スキルを今の職場に活かし調和した森林造りに励んで行きたいと思いま

す。

研修を終え県内各地方から集まった事業者等の皆さんと知り合いとなり、喜ばしく思います。この出会いをきっかけに連携をとり合い林業への活性化へと繋がれば幸いです。

40日間の短い期間ではありましたが、林業に対する専門知識、技術が先生方の指導、講義により向上したと思います。

有意義な研修に参加させて頂きありがとうございました。

栗城林業(株)

渡部 一也

初めに、この研修に参加出来た事、そして多くの事を考える時間を頂いた事、会社並びに講師の方々に感謝申し上げます。

今回の研修に関して感じた事は、一般的な林業に関連する研修内容であり、役立つことや再認識することも多くあったと思います。しかし、日々の作業に追われている我々が改善出来ることは限られています。労働者の我々に何を求めているのか？そして今後の林業施業において、どのように進めるのが適切なのか？明確に伝わってこない点が残念であり、個々のスキルと受け取り方に期待するしかないという結果で、トータルの良かったとは思えません。

今後は、福島県や地域社会にとって必要とされる林業を目指し、安定した林業経営・施業のもとに、労働者のスキ

ルアップを図り、現場に反映しやすい研修内容である事を願います。

我々労働者は何を学び、何をすれば生き残れるのか？この研修後も、常に向上心を持って、林業存続・発展の為に努力し続けなければならないと思います。

そういう意味では、労働条件が厳しい中、志を持った仲間が沢山いると実感出来た事が、今回の研修で一番良かった点です。

厳しい事を書いた様ですが、誰の批判でもなく前向きに取り組んで行こう！ゼロ災で行こう！と言う事です。

最後に、心強い関係各位・研修生の皆様、本当にありがとうございました。またお会いする日を楽しみにしております。

福島県北森林組合

桑名 繁

7月から12月までの約40日間という基幹林業労働者研修を終え、ほっとしています。私は、林業経験が浅く、この研修実施計画書を上司から頂いた時「自分にできるのだろうか」「実際、自分で良いのだろうか」など、少し不安に感じました。この研修での経験が無かったら林業における基本や、その中での学科や実技、作業での高度な技術と知識など、様々な事を習得することが出来なかったと思います。

私は、今回の研修内容で特に印象に残ったものがあります。

まず、一つ目は「林地の測量」「面積計算」「GPSの利用」です。測量やGPSの利用などに関しては、仕事場での多少の知識、多少の経験はありましたが、器具の一つ一つの名称まで学べたので良かったと思います。

面積計算では、求め方がわからず、資料を片手に周りの方々に聞きながら学びました。デジタル化で簡単に出来るしまう時代ですが、詳しい基礎的な部分が学べ、応用して

いきながら今後の現場など活かしていきたいと思います。

次に印象深かったのが「高性能林業機械の実習」です。数回にわたり、現地で指導担当者や講師の先生の話聞き、実際に機械に乗って操作をさせて頂きました。林業でも機械化が進んでいる今、機械の能力だけでなく、それを乗りこなす技術と経験が必要だと実感しました。

最後に、林業におけるさまざまな問題が出てきています。温暖化の問題、環境と水問題や、資源、エネルギー等の問題、木材価格の問題など、作業員の高齢化問題、有りとならぬ問題が林業業界についてきています。この研修を通して我々が学んだ事がこの様々な問題点を解決して行ける一人にリーダーとなる人材になればと考えています。

この研修へ参加し、他の研修生、各方部の森林組合の方や、林業事業者の方の話も参考になり、今後の仕事の中で活かし、自分自身のレベルを上げて行かなければと思っています。

(有)近野林業

八巻 純一

この度、基幹労働者研修に参加させて頂き、色々な体験をしました。今まで、テキスト等で知っていたことも実際に現場で体験したり、他の林業事業者や森林組合の人々と情報交換できたりと貴重な時間を過ごさせて頂きました。

中でも、作業する際に必要な資格を色々取らせて頂き有り難く思います。欲を言うのと、もっと多くの資格を取らせて頂ければ嬉しかったです。

現場実習で印象に残っていることは、架線集材機を見る

ことが出来たことです。テキストや写真では見たことはありましたが、実物を見る機会がなかったので今回の研修には感謝しています。あと、体験実習で作業道造りをしたことです。

今までやったことがなかったので少し不安だったのですが、担当の先生が解り易く説明してくれたおかげでうまくできてよかったです。作業道測量設計では、今までやったことがないコンパスを使ったり設計したりと大変でした。

実習で他に感じたことは、高性能林業機械化の事です。プロセッサやハーベスタ等に今までに乗ったことがなかったので操縦が難しかったです。しかし、機械操縦に慣れば、講習で習った低コスト化ができると思いました。

また、講習で習った国産材を使つての家造り等や、これから多くのことに使われることにより材の価格が上がってくれば良いと思いました。

作業員の高齢化の話も気になりました。高性能林業機械

化を進めている中、作業員に若い人を増やしてプロを育てていく等の工夫をしていく必要もあるのかと思います。

講習で見る災害事例や、講師の先生の話を知ると、事故の原因が基本を怠ったことで起きていることが多いことを知りました。学んだことを活かし、実際の仕事で役に立てて安全に仕事をして行きたいと思います。

最後に、今回の研修で得た知識と経験を今後の仕事に役立てて頑張りたいと思います。

ふくしま中央森林組合

会 田 雄 介

このたび40日間にわたる基幹林業労働者研修を受講して、大変良い勉強と刺激になりました。

まず、自分自身も普段現場に出てチェーンソーや林業機械を操作するといった役職にはついておりません。そのため、現場主体の職員と話しをする上で意思の疎通ができにくかったということもありました。しかし、今回の研修において林業機械を操作して機械を扱う上でどのようなことに注意し、またどういったことに注意をしないとイケないかということが分かり今後の仕事に活かせると思いました。40日間という研修の日程の中で緑の雇用の研修生との合同講義がありましたが、基幹労働研修の内容と同じものもあったため、その点は残念だったかなという気持ちはありました。

現在の林業はどこへ行っても耳にするように木材価格の低迷により厳しい状況が続いており、生産コストをどれだけ削減するかということが林業における課題であることは

間違いないと思います。一次産業界では、TTPによって特に農業では多大な被害が出るのが予想されています。林業も他人事ではありません。今現在進められている施業集約化においては、国産材を潤沢にし、価格の面において外材と競争できるような林業を目指す重要な施策であることは間違いないと思います。ただ、間違えてはいけないこととして、施業集約化はただ単にコストを下げるということだけでなく、長期施業を可能にするための方法の一つであることを忘れてはいけないと思っています。

今後の林業は地球的に見ても環境や動植物の保護といった、生活する上で重要な位置を担っている産業であることを忘れずにいたいと思います。

最後に、毎年の事ではあると思いますが、この基幹林業労働者研修の実施に大変な御苦勞をされた福島県林業協会の皆様と、研修に関わった多くの方との縁に感謝したいと思います。

田村森林組合

鎌 田 光 治

7月の開講式から12月迄の約6ヶ月（40日間）の中で、平成22年度基幹林業労働者研修を受講させて頂きました。今回の研修生は、県内各地域の林業事業体、森林組合と限られた少人数の人達で若い人から中高年の19名の参加でした。今回の研修で印象に残ったことが2つあります。まず1つ目は、作業道測量設計実習と、もう1つは高性能林業機械の体験実習でした。どちらも初めての経験だったのですが、設計や実際の作業体験ができてより興味がわきました。今後は、実際の現場で作業道設計をして林業機械を効率良く使い、素材生産を上げられるように頑張りたいです。

林業を取り巻く環境は依然厳しく、木材価格の低迷や作業員の高齢化などが目立っているような気がします。しかしその未来は、決して暗いばかりではないと思います。国全体の環境問題への意識の高まりとともに、森林整備も注目を浴びるようになり、国産材の利用も徐々に良くなる傾向にあると思います。

今回の研修で得たことを、一つでも多く現場で役立て安全第一で頑張りたいです。

最後になりますが、今回の基幹労働者研修の関係者ならびに講師の先生方には、お世話になり感謝しています。ありがとうございました。

(有)ハヤマ森業

田 中 信 男

今回、基幹林業労働者研修という研修を7月から12月まで約6ヶ月間に約40日間参加させて頂きました。県内各方面から林業事業体、森林組合含め、20名余り集まりました。

大体の人達は若くても林業経験のある人達で、私のような4年目に入ったばかりの者が参加して、ついて行けるのかと少し不安であったことを思い出します。

しかし、時を重ねるにつれみんな心許される人達ばかり

で研修にも気兼ねなく参加できたことを感謝しています。

さて、研修内容のことですが、色々な林業に関する知識の講習、実習大変為になったと思います。

今後は実際の現場で活かし、自分を磨いて長く林業を続けて行きたいと思います。

最後に研修に関わった関係者、講師先生方、同期の皆様へ感謝の言葉を送りたいと思います。有り難うございました。

平成23年度林業事業体現場作業職員 採用計画

県内の認定事業体に平成23年度の採用計画をお聞きしました。その内容については当支援センターへお問い合わせください。

福島県林業労働力確保支援センター

TEL 024-521-3270 FAX 024-521-3246

担当者 小松、増子

(平成23年2月現在)

林業事業体名	所在地	採用人数 (人)	年齢	雇用形態	職 種			
					造林	保育	素材生産	オペレーター
(有)熱海グリーン産業	郡山市熱海町安子島字竹ノ内144	3	不問	常用	●			
郡山市森林組合	郡山市逢瀬町多田野字本郷228	2	不問	常用		●		
ふくしま中央森林組合	田村郡小野町大字小野新町字知宗59-2	3	不問	常用		●	●	
田村森林組合	田村市常葉町西向字堂ヶ入62-7	3	不問	常用		●	●	
(株)アメリカ屋	郡山市田村町徳定字下河原58	2	不問	常用			●	
(有)スズキ木材	東白川郡棚倉町大字戸中字川前217	1	不問	常用				●
(有)田部林業	東白川郡矢祭町大字茗荷字入山37	1	不問	常用	●	●	●	●
(有)本郷林業	東白川郡鮫川村大字赤坂東野字戸草289-1	1	不問	常用	●			
(有)諸橋林業	東白川郡鮫川村大字赤坂東野字戸草23-2	2	不問	常用	●			
(有)いしぐろ	東白川郡塙町大字塙字宮田1	1	不問	常用			●	
白栄林業企業組合	白河市字会津町93-8	1	不問	常用	●	●		
(有)三和造林	西白河郡西郷村大字鶴生字由井ヶ原115	2	不問	常用		●		
(株)池田林業	東白川郡塙町大字那倉字矢塚1	1	不問	常用			●	
会津若松地方森林組合	会津若松市城前2-3	2	不問	常用	●	●	●	●
(株)館岩工務所	南会津郡南会津町松戸原223	1	不問	常用			●	
(有)鈴木林業	南相馬市原町区南町3-53	1	不問	常用			●	
(有)志賀林業	双葉郡川内村大字下川内字道の下30	2	不問	常用	●	●	●	●
(有)浪江愛林	双葉郡浪江町大字川添字南大阪57-12	1	不問	常用	●	●	●	
吉田林業(株)	双葉郡葛尾村大字落合字大放100	1	不問	常用			●	
飯館営林(有)	相馬郡飯館村飯館字所久保10	2	不問	常用		●	●	●
(有)中川木材	南相馬市原町区中太田字天狗田95	1	不問	常用				●
(有)ハヤマ森業	相馬郡飯館村八木沢字上八木沢110	1	不問	常用	●	●	●	
松山林業(有)	相馬市東玉野字町裏139-1	1	不問	常用				●
相馬地方林業企業組合	相馬市山上字前67-1	2	不問	常用	●	●	●	
(有)大和田	双葉郡浪江町大字権現堂字本城11-2	1	不問	常用	●	●		
(有)阿部林業	いわき市好間町大和利字井出水72	3	不問	常用			●	●
常磐林業(株)	いわき市岩間町川田55	1	不問	常用	●	●	●	●
磐城造林(株)	いわき市勿来町関田宮前36	1	不問	常用	●	●	●	●
(有)平子商店	いわき市遠野町入遠野字白鳥132	1	不問	常用			●	
いわき愛林(株)	いわき市小川町上小川字片石田111-1	1	不問	常用	●	●	●	
(有)丸信林業	いわき市小川町福岡上ノ山55-1	1	不問	常用	●	●	●	
(有)中崎林業	いわき市小川町塩田字尾ノ内127	2	不問	常用	●	●	●	
(有)井出林業	いわき市錦町江栗1-83-3	2	不問	常用	●	●	●	
(有)豊田林業	いわき市田人町旅人字前山1	1	不問	常用	●	●	●	
(有)近野林業	いわき市勿来町大高応時1	1	不問	常用	●			
國生興産(有)	いわき市小川町柴原字桐ヶ岡48	1	不問	常用	●			
遠野興産(株)	いわき市遠野町根岸字石田44-3	1	不問	常用			●	

職種 ●造林：地ごしらえ・植え付け ●保育：下刈り・枝打ち・つる切り・除伐 ●素材生産：主伐・間伐 ●オペレーター：林業機械運転

雇用管理セミナーの開催

本年度の雇用管理セミナーは、社会保険労務士の菅野隆氏を講師にお招きして11月12日（金）に郡山市のビッグパレットで開催しました。

県内の森林組合及び認定事業体の事業主等林業関係者35名の参加がありました。

講演の内容は「労働関係法のポイントについて」をテーマに長時間にわたり講演をいただきました。

この講演を契機に各事業体が雇用の安定を目指して明るく楽しい職場になるように願っております。



菅野隆氏の講演



聴講する林業事業体の皆さん

森林の仕事ガイダンス開催される

平成22年度森林の仕事ガイダンスは、全国森林組合連合会主催で全国2ヵ所で開催され、当支援センターは、平成22年11月26日（金）～27日（土）東京「アキバスクエア」の相談会に参加しました。

会場では、都道府県ごとのブースが設置され、支援センター、森林組合連合会の職員が相談員となり林業就業希望者に対して、当県の林業就業状況内容や雇用の流れ等について説明をいたしました。

当県の相談件数は、19名です。



研修生と葛城奈海さんのトークショー



福島県相談ブース